事業番号 0031

平成２８年度行政事業レビューシート（ 警察庁 ）

事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備			担当部局庁	情報通信局	作成責任者
事業開始年度	昭和６１年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	通信施設課	通信施設課長 佐藤　正明
会計区分	一般会計					
根拠法令（具体的な条項も記載）	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号			関係する計画、通知等	―	
主要政策・施策	–			主要経費	その他の事項経費	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。					
事業概要（5行程度以内。別添可）	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。					
実施方法	直接実施					

予算額・執行額（単位：百万円）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求
予算の状況	当初予算	18	1,404	105	41	
	補正予算	2,092	–	1,222		
	前年度から繰越し	1,330	1,771	–	1,053	
	翌年度へ繰越し	▲ 1,771	–	▲ 1,053		
	予備費等	218	–	▲ 35		
	計	1,887	3,175	239	1,094	0
執行額		1,274	2,121	56		
執行率（%）		68%	67%	23%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 – 年度	目標最終年度 – 年度
自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備	累積整備数	成果実績	累積整備数	1,511	1,511	1,511	–	–
		目標値	累積整備数	1,511	1,511	1,511	–	–
		達成度	%	–	–	–	–	–

成果目標及び成果実績（アウトカム）欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 ☐ チェック

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
年間整備数（増強）	活動実績	年間整備数(増強)	1	–	–	–
	当初見込み	年間整備数(増強)	–	–	–	–

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
年間整備数（更新）	活動実績	年間整備数(更新)	25	191	7	–
	当初見込み	年間整備数(更新)	125	191	7	3

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
年間整備数（撤去）	活動実績	年間整備数(撤去)	1	–	–	–
	当初見込み	年間整備数(撤去)	–	–	–	–

単位当たりコスト

算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
事業費総額／年間整備数（更新・増強・撤去）	単位当たりコスト	千円	47,189	11,106	7,945	–
	計算式	事業費／整備数	1,274,104/27	2,121,214/191	55,613/7	–

平成28・29年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
警察通信機器整備費	41		
計	41	0	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係		
政策評価	政策	犯罪捜査の的確な推進
	施策	重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上

測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28 年度
	各重要犯罪（注1）の検挙率（注2） （注1） 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ （注2） 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	63.9	70		－	
		目標値	%	64	64.2		－	

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取システムを活用することにより、手配車両の早期発見、自動車盗等の重要窃盗犯や自動車利用の重要犯罪が発生した際の被疑者の早期検挙を図ることが可能となり、重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上に寄与する。

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評　価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車盗や自動車を利用した犯罪の検挙に極めて効果的な装置であり、公共の安全と秩序を維持するための警察活動を行う上で、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することとなっており、国が実施すべき事業として適切なものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	警察の責務である公共の安全と秩序の維持のために自動車ナンバー自動読取装置を整備することは、必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	競争入札により落札した業者と契約しており、支出先の選定は適切なものである。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することとなっており、国が実施すべき事業として適切なものである。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、単位あたりコストの水準は妥当なものである。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	執行額全額について、自動車ナンバー自動読取装置の整備のために支出されていることから、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	○	翌債契約があるため不用率が大きくなっているが、妥当なものである。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、最小限のコストで実施している。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	警察活動に必要な自動車ナンバー自動読取装置を整備しており、警察活動をより迅速・的確に行うことが可能となるなど、成果目標に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、最小限のコストで実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みどおりの数を更新整備している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	警察活動に十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）	-	

所管府省・部局名	事業番号	事業名

点検・改善結果		
	点検結果	通信機器の調達契約については、警察庁で一括調達することで適正性を確保している。また、機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しており、地方機関から執行状況の報告を受け、適切性を確保している。
	改善の方向性	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。 予算要求に際して、契約実績額、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

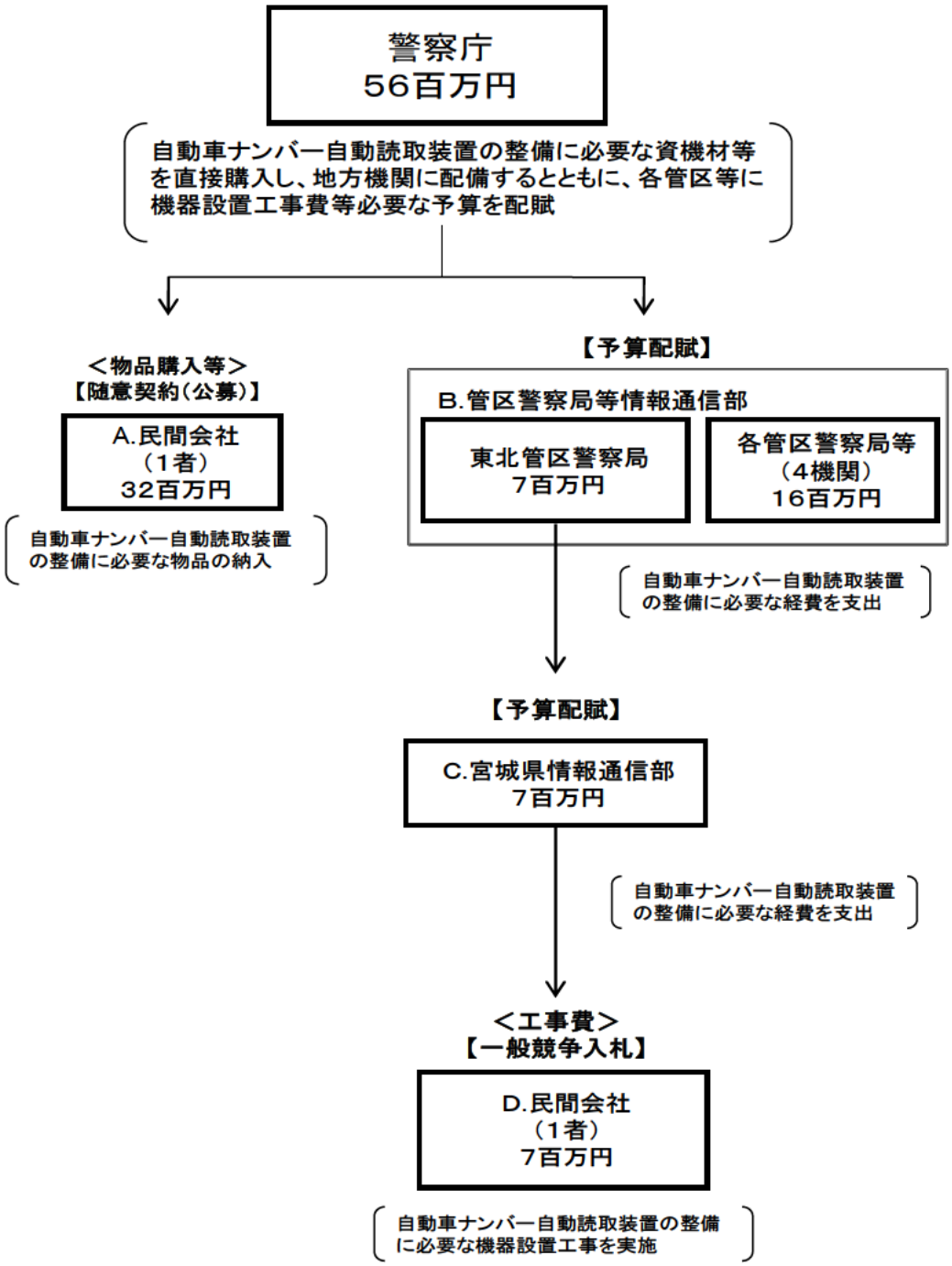
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	当初8-5、補正3-3	平成23年度	52	平成24年度	37		
平成25年度	10	平成26年度	40	平成27年度	30		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.A株式会社

費　目	使　途	金　額（百万円）
物品購入費	自動車ナンバー自動読取装置	32
計		32

B.東北管区警察局

費　目	使　途	金　額（百万円）
予算配賦	自動車ナンバー自動読取装置の整備に要する経費	7
計		7

C.宮城県情報通信部

費　目	使　途	金　額（百万円）
予算配賦	自動車ナンバー自動読取装置の整備に要する経費	7
計		7

D.株式会社東北カナデンテレコムエンジニアリング

費　目	使　途	金　額（百万円）
工事費	通信施設整備等工事	7
計		7

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載　☐ チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	A株式会社	－	自動車ナンバー自動読取装置	32	随意契約（公募）	3		－

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	東北管区警察局	8000012130001	予算配賦	7	－	－		－
2	北海道警察情報通信部	8000012130001	予算配賦	6	－	－		－
3	中部管区警察局	8000012130001	予算配賦	5	－	－		－
4	関東管区警察局	8000012130001	予算配賦	4	－	－		－
5	中国管区警察局	8000012130001	予算配賦	1	－	－		－

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	宮城県情報通信部	8000012130001	予算配賦	7	－	－		－

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	株式会社東北カナデンテレコムエンジニアリング	5370001011418	通信施設整備等工事	7	一般競争入札	6		－
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							☐ チェック	